

ISPA初島・三崎100マイルセーリング

8月27日(金)~29日(日) 2泊3日

記・写真 岡田 豪三

矢崎 満夫
(99年8月デイスキッパー、
コスタルコース2回参加)

塚田 俊雄
(10年8月ヨビテクル)

箕輪 一郎
(10年4月ヨビテクル)

関 照正
(10年7月ヨビテクル)

荒木 富夫
(09年3月ヨビテクル)

松信 奈々美
(10年6月ヨビテクル)

庄野 和枝
(05年11月ヨビテクル)

初島フィッシャリーナにて

2泊3日の初島・三崎100マイルセーリングは8月27日~29日猛暑の中行われた。天気予報では太平洋高気圧が日本上空をすっぽり覆いかぶさるようになって居座っているため、27日~29日に掛けては晴れて安定した南風が吹く予報。強風でヨットが吹き倒される心配はない。トレーニングとしては絶好のコンディションである。



8月27日1日目航跡図(航跡図は箕輪作)

8月27日(金) 朝から暑く
猛暑日になる予報!

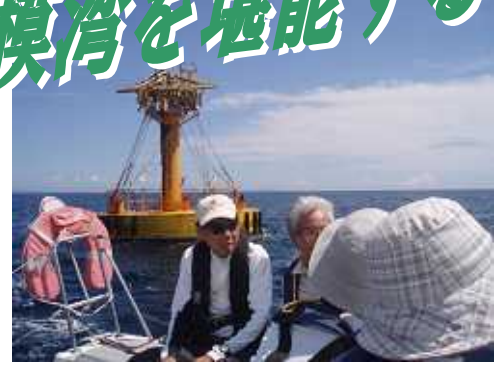
極上の相模湾を堪能する



機帆走で剣崎に向かう



房総半島もくっきり見える



1230城ヶ島南西沖浮き漁礁通過

0800の集合時間に車の渋滞で1名が少し遅れただけで全員集合。簡単なミーティング行い、自己紹介の後ヘルムの順番をくじ棒で決める。直ぐにベンドオン。1日目はYBMから一気に初島まで44マイルを走る。6ノット計算で7時間強かかる、早くても1600到着予定になるのであるべく早く出発したい。20分でベンドオンして0830出港。南風弱くメインセールを揚げて機帆走。下げ潮にも乗って6ノット平均で観音崎を目指す。夏と言うのにとても視界がよい。観音崎を越えると金谷ののこぎり山、房総半島が直ぐ近くに見える。剣崎が近くになると風が徐々に上がり10ノットになる。風は真南180度から吹いている。剣崎を越えるとセーリングができそうだ。1130剣崎を越えて定置網をクリアしたところでNO1ゼノアを揚げる。

セールを揚げると12ノットくらいまで風が上がりクローズリーチ6ノットで走る。波も小さく比較的走りやすい。ヘルムは30分交代、ポジションは右ジブ、左ジブ、メインシート、ヘルムと順番に交代していく。ヘルムは初島(260M)へ向ける。メインシートとジブ担当は正しく走っているときに正しくトリムするよう厳しく言い渡す。少しづつ風が強くなってきそうなのでまっすぐ走るのが難しそうだ。大きく蛇行して私に激を飛ばされる人が出てくる。しかし、30分も続けてヘルムを取ると10分くらいで慣れてきて後半はまともに走るものだ。相模湾の水のきれいなこと、夏でこんなにきれいな海を今まで見たことがあるだろうかと言うほど相模湾は美しかった。房総半島から右に大島、伊豆半島の天城山、箱根、大磯、江ノ島、三浦半島とくっきりと手に取るように良く見える。

1400相模湾のど真ん中にくる。風さらに強くなり16ノットになったのでNO1ゼノアをNO3ジブに交換。スピードは7ノット平均に上がる。程なく初島が見えてきて初島にめがけて走るのでヘルムは走りやすくなったようだ。初島に5マイルと近くなると1ポイントリーフした方がいいくらいになってくる。しかし、これ以上強くなると判断してそのまま走る。初島近くは18ノットまで吹き上がっていた。1600丁度初島のブランケットでセールを下ろしフィッシャリーナに左舷ドッキング。海上を走っているときはあまり暑さを感じなかったが、陸に上がると猛暑がみんなにおそいかかってくる。

1645民宿なかののライトバンで民宿へ。そして初島フィッシャリーナの温泉に出かけ1日の汗を流し落とす。最上階の露天風呂からは大島、三宅島、利島、新島、神津島まではっきり見えて感激する。冬でもこんなに良く見えないのに真夏で見えるとは、なんと幸運な人たちだろう。民宿なかのは初島で一番おいしい料理が出ることで知られている。サザエのつぼ焼き、サザエの刺身、魚の刺身、かさごの煮付け、明日葉てんぷら、海の幸を存分に味わった。



クローズリーチのトリムをする



初島



剣崎沖からセーリング開始

8月28日(土) 朝から快晴*
 今日も猛暑日になりそうだ!

7ノットのスピードで相模湾を横断



後方は伊東、ビームリーチで油壺へ



初島を後にする

0500に起きて海岸を散歩。丁度朝日が昇るところだ。0600民宿に帰るとまだみんな寝ている。お昼用のおにぎりを握ってもらいハーバーに送ってもらう。氷を仕入れて0930初島を出港。すでに南から10ノットの風が吹いている。初島を一周するように南に走ってから三崎に向ける。風が南なので三崎に向けるとビームリーチになる。昨日はクローズリーチ、今日はビームリーチと目的地まで1本コースになる。風は直ぐに15ノットくらいまで上がり7ノットで走り始める。昨日に続いて視界がよい。きれいな景色を見ながらのセーリング。しかし、ビームリーチでまっすぐ走るのは難しい。蛇行する人が続出。私の声が飛ぶ。後半になると私も疲れて何も言わなくなってしまった。ひたすらスピードをつけて走る。7ノットのスピードで快調に走り1315諸磯湾に到着。油壺京急マリーナにドッキング。

早く着いたので観潮荘で風呂に入り、さっぱりしたところで油壺マリンパークへ。いくつかのショーをみて、回遊する魚をそばで見て子供ごころに帰る。夕食は初島とは違った海の幸を満喫。部屋に戻ると窓からは長井の自衛隊の花火が、その左奥には八景島の花火までが見える。これも幸運だった。



8月28日2日目航跡図



油壺京急マリーナにドッキング



観潮荘でカンパイ



諸磯湾



諸磯灯台

8月29日(日) 朝から暑い! 今日も猛暑日。 剣崎からYBMまで3時間半のスピラン



暑い暑いスピラン



8月29日 3日目航跡図

朝風呂に入ってから大広間で朝食を取り、車でマリーナまで送ってもらう。途中コンビニで昼食のおにぎりを調達。氷も積み込んで0930、スタッフの見送りを受けて出港。南南西の風が10ノットくらい吹いている。今日も1日中セーリングができそうだ。

定置網を出たところでセールアップ、NO1ゼノアにフルメイン。ポートタックのクロスホールドで少し走ったところでカミングアウト(タッキング)。ヘディングは城ヶ島の沖の漁船団に向ける。視界が良く景色がきれい。城ヶ島と漁船団の間を抜けるとピームリーチで剣崎沖へ、1030スピンを揚げる。スターボードタック5ノットで走る。ある程度スピンができるのは矢崎さんしかいない。剣崎を越え東京湾に入ったところでジャイブをすることに。ヘルム荒木、矢崎さんをバウマンにしてジャイブにチャレンジ。しかし、ジブシートをスピンポールに絡めるトラブルがあってそれを直そうとしている間にスピンがフォアステーに巻きつき、所謂ちょうちんになってしまう。直ぐにスピンハリヤードを緩め、スピンの真ん中をつかんで下に引き下ろす、5分もかからないでちょうちんを直すことができた。初めての経験でちょうちんをするとスピンを破くことが多いのだが、手際よくできたのでロスがなかった。上出来である。

ここからはデッドラン(追手)に近いブロードリーチで走る。風と一緒に走るので風を感じず猛烈な暑さになってくる。みんな水分補給に心がけながら暑さに負けずに観音崎に向ける。海驢(あしか)島を越えて、ヘルム矢崎、バウマン関、サポーター庄野でスピンジャイブにチャレンジ。トッピングリフトを下げなかったのでスピンポールが高すぎて、庄野さんがスピンポールに振られてあわや落水かと言うきわどい体験をする。箕輪さんが助けに入って直ぐにスピンポールを下げて事なきを得る。

1235観音崎沖で3回目のジャイブ。前回の失敗のリベンジで矢崎さんがバウマンを買って出る。ヘルム荒木。うまく行ったように見えたがスピンポールをセットしたところにジブシートが絡むという同じ失敗をしてしまった。矢崎さんは悔しがること叱りである。観音崎をさらに東京湾にはいると風はやや落ちてスピードが落ち、一段と暑さを感じるようになる。上げ潮にも乗ったのでであろうか1415YBMに到着。早く着いたのでご褒美に全員がドッキングの練習をする。7名が一通りこなすのに1時間20分を要す。こうして実りある2泊3日の100マイルトレーニングは修了した。3日間で全員が見違えるほどスキルアップしたようだ。



スピランにも慣れてきた



城ヶ島沖の漁船団を通過する



京急マリーナ出港前にパチリ